

議案第7号

総社市障害者福祉事業野田基金条例の一部改正について

総社市障害者福祉事業野田基金条例（平成17年総社市条例第84号）の一部を次のとおり改正する。

令和5年2月28日提出

総社市長 片岡 聡 一

提案理由

基金の運用方法を変更するため、関係条文の整備を行おうとするものである。

総社市条例第 号

総社市障害者福祉事業野田基金条例の一部を改正する条例

総社市障害者福祉事業野田基金条例（平成17年総社市条例第84号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄中条及び号の表示に下線が引かれた条及び号（以下「移動条号」という。）に対応する同表の改正後の欄中条の表示に下線が引かれた条（以下「移動後条」という。）が存在する場合には、当該移動条号を当該移動後条とし、移動条号に対応する移動後条が存在しない場合には、当該移動条号（以下「削除条号」という。）を削り、移動後条に対応する移動条号が存在しない場合には、当該移動後条（以下「追加条」という。）を加える。

次の表の改正前の欄中下線が引かれた部分（条の表示及び削除条号を除く。以下「改正部分」という。）に対応する同表の改正後の欄中下線が引かれた部分（条の表示及び追加条を除く。以下「改正後部分」という。）が存在する場合には、当該改正部分を当該改正後部分に改め、改正後部分に対応する改正部分が存在しない場合には、当該改正後部分を加える。

改正後	改正前
<p>(設置) 第1条 <u>野田進氏の遺族からの寄附金を原資とし、総社市の障害者福祉事業の経費に充てるため、総社市障害者福祉事業野田基金（以下「基金」という。）を設置する。</u></p> <p><u>(積立額)</u> 第2条 <u>基金として積み立てる金額は、一般会計歳入歳出予算で定める。</u></p> <p>(運用益金の処理) 第4条 <u>基金の運用から生ずる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上して、この基金に編入するものとする。</u></p>	<p>(設置) 第1条 総社市の障害者福祉事業の経費に充てるため、総社市障害者福祉事業野田基金（以下「基金」という。）を設置する。</p> <p><u>(基金の額)</u> 第2条 <u>基金の額は、次に掲げる額の合計額とする。</u> <u>(1) 野田進の遺族の寄附金 700万円</u> <u>(2) 基金の運用から生ずる収益</u></p> <p>(運用益金の処理) 第4条 基金の運用から生ずる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上して次に掲げる経費に充てるものとする。</p>

改正後	改正前
<p><u>(処分)</u> <u>第5条</u> 基金は、障害者福祉事業に係る経費の財源に充てる場合に限り、予算で定めた範囲内で処分することができる。</p> <p>(その他) <u>第6条</u> 略</p>	<p><u>(1) 障害者福祉事業</u> <u>(2) 当該基金への繰入れ</u></p> <p>(その他) <u>第5条</u> 略</p>

附 則

この条例は、公布の日から施行する。